

記者発表（ 発表 ・資料配布）				
月日	担当課・班名	TEL	発表者名 (担当)	その他の発表先
1/19 (木)	教職員課 (考査班)	内線：5665 直通：(078)-362-3747	課長 今井 一之 (班長 岡田 悟)	なし

平成28年度 兵庫県優秀教職員表彰式の実施について

1 表彰の目的

日々の学校教育活動において優れた取組を行っている教職員の努力を讃え、当該教職員が表彰を機にさらに意欲的にその実践力を高めるとともに、その成果を普及することで、本県教職員全体の職務意欲・資質能力の向上と本県教育の活性化を図る。

2 表彰の概要

兵庫県教育委員会が任命権を有する市町組合立学校教職員、県立学校教職員のうち、学校教育活動において、他の教職員の模範となる取組を行い、特に顕著な成果をあげている37名を教育長が表彰する。なお、本表彰は平成18年度から実施しており、これまでに381名が受賞している。

<参考1 受賞者の内訳>

区 分	人 数	内 訳
小 学 校	18名	教育職員17名、事務職員1名
中 学 校	8名	教育職員7名、事務職員1名
高 等 学 校	6名	教育職員6名
特別支援学校	5名	教育職員5名
計	37名	教育職員35名、事務職員2名

<参考2 分野別受賞者数>

分 野	校 種				
	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	全 体
(1)学習指導、研修・研究活動	13	5			18
(2)生徒指導、進路指導		1	1		2
(3)課題教育(学校保健・食育、特別支援教育、人権教育、防災教育、へき地教育等)	4	1	3	5	13
(4)職務の工夫・改善	1	1			2
(5)開かれた学校づくり、その他の学校教育活動			2		2
合 計	18	8	6	5	37

3 表彰式

(1) 日 時

平成29年2月9日(木) 14:00～15:00

(2) 場 所

兵庫県公館 第一会議室

小学校 (18名)

No.	氏名	学校名	職名	主な受賞内容	分野
1	たぶら まさき 田淵 雅樹	芦屋市立朝日ヶ丘小学校	教諭	平成26年、芦屋市立打出教育文化センターの研究部会に「ユニバーサルデザイン授業づくり部会」を新設し、同部長となり、授業研究に取り組んだ。 同市が受託している「スクールクラスター推進事業」において、県立芦屋特別支援学校とも連携し、授業のユニバーサルデザイン化に取り組むとともに、その一環として、平成28年1月にユニバーサルデザインの授業を公開し、同部会の研究成果を阪神間へ発信した。	学習指導、研修・研究活動
2	おおた ゆうこ 太田 裕子	伊丹市立緑丘小学校	主幹教諭	授業改善や指導法の工夫など日々研鑽を重ね、特に国語科においては、伊丹市の国語担当者会幹事を長年務め、「コミュニケーション力の育成」等をテーマに提案授業を積極的に行うなど、同市の国語教育の推進に尽力した。 阪神国語研究大会冊子や兵庫県国語教育連盟誌に実践を掲載し、平成27年には兵庫県小学校国語教育研究会中央大会において提案授業を実施するなど、実践の成果を積極的に発信している。	
3	いわみ なおみ 岩見 直美	加西市立賀茂小学校	主幹教諭	国語科研究に意欲的に取り組み、多くの研修会等で講師を務め、研究推進についてアドバイスをを行っている。特に「つながる」授業を意識し、実践を行っている。 平成27年度には、加西市立総合教育センターの教師力向上研修講座において「つながる授業づくり・つながる学級づくり」について発表し、28年度には小野市立河合小学校の学習指導における校内研修会で講演するなど、絶えず研究と修養に努めている。	
4	いしどう ひろし 石堂 裕	たつの市立新宮小学校	教諭	総合的な学習の時間のカリキュラムに「地域貢献活動」を組み込み、次期学習指導要領の柱となるカリキュラム・マネジメント及び探究型授業のモデルをつくった。 J R 姫新線や堀家住宅など地域資源を活用した地域貢献単元は、「内閣総理大臣賞」(H20)、「地球環境大賞環境地域貢献賞」(H22)等、平成27年度まで8年連続で全国表彰に輝いた。 平成21年度から2年間、教科等指導員を務めるとともに、21年度から掛龍小学校教科経営部会の世話係を担っている。	
5	たにかわ とみ 谷川 知美	丹波市立北小学校	教諭	同校での到達度評価を生かした学習指導の在り方研究と、授業場面におけるICTの効果的な活用研究とを一体化させた研究を中心となって行っている。 平成26年度から教科等指導員(算数科)を務め、丹波地区における算数科指導の充実に尽力している。同地区内の小学校の校内授業研究会や、県教育委員会主催の初任者研修・2年次研修・10年経験者研修での講師として指導助言を行っている。 これらの取組を兵庫県小学校視聴覚教育研究大会丹波大会で発表し、文部科学省委託「教育ICT実践事例集」に執筆した。	
6	いそがい ようきち 磯貝 陽吉	篠山市立味間小学校	教諭	同校研究推進委員長として、資料から読み取ったことを比較・関連づけながら思考を深め、表現できる児童の育成について社会科研究を進めた。この取組を平成26年度の兵庫県社会科教育研究大会で公開授業や研究発表を行い、同校が取り組んでいる社会科学習の紹介及び啓発を行った。 平成25年度に県教育委員会「兵庫県型教科担任制」検証委員会委員として活躍し、25年度から3年間、丹波地区の教科等指導員(社会科)を務め、26年度から2年間、県の年次研修の講師として活躍した。	

No.	氏名	学校名	職名	主な受賞内容	分野
7	かわい 河合 ようこ 庸子	播磨町立播磨南 小学校	主幹教諭	平成27年度から国立教育政策研究所の教育課程研究指定校事業(国語)の研究指定校である同校において、研究主任として研究を推進し、積極的に公開授業を行い、児童の国語力向上と職員の授業実践力のレベルアップを図り、着実に成果をあげている。この実践について、文部科学省での教育課程研究指定校事業の研究協議会や、東・北播磨地区小学校国語教育研究大会において研究結果を発表した。 また、教科等指導員(国語)として、平成27年度から加古川市や播磨町の年次研修等で講師を多く務めた。	学習指導、研修・ 研究活動
8	くめ 久米 たかひろ 高弘	明石市立王子小 学校	主幹教諭	平成24年度から、学校教育目標を念頭に常に教職員の組織的な教育力向上を目指し、積極的に公開授業を行い、障害を持つ児童も含め基礎学力を定着させる授業モデルを示す等、日々の教育実践に全力を注いでいる。 これらの取組を踏まえ、平成26年度に第20回UD研究会in関西で講演を行ったほか、守山市発達支援センター特別支援教育研修会や、寝屋川市立桜小学校公開授業研究会、兵庫県教育心理研究会等で、ユニバーサルデザイン教育についての研究実践成果を広く発信している。	
9	とくら 計倉 やすかず 康和	三木市立緑が丘 東小学校	主幹教諭	外国語教育の充実を図るため、兵庫教育大学の参画を得ながら授業を実施し、授業方法やカリキュラム編成の改善に取り組み、三木市内の外国語活動のレベルを向上させた。 平成20年度以降、市立教育センター研究員発表会や県教育研修所連盟研究発表大会等で発表するなど、市内外の学校においてその成果の普及に努めている。 平成27年度に、話せる英語教育の推進に係る検討委員、27年度から教科等指導員(外国語活動)を務めるなど、教員の資質向上のため尽力している。	
10	のべ 野邊 くみ 久美	稲美町立天満東 小学校	主幹教諭	同校の研修主任として、主に国語科の指導法について校内研修をリードするなど、国語科教育の研究実践に取り組んでいる。 表現力を高めるための授業づくりとして、学習内容によって発表方法を変えたり、間違っても許せる雰囲気づくりなどの工夫をし、稲美町「特色ある学校づくり」研究事業・国語教育研究発表会でその成果を発表した。 その後も、ことばの力の充実に力を尽くし、平成28年11月の第66回兵庫県小学校国語教育研究中央大会において、提案授業を行った。	
11	やまもと 山本 なみ 直美	姫路市立安室小 学校	教諭	長年、保健・性教育について「自他の生命を大切に生きる方を育てる性教育」をテーマに研究実践している。 姫路市教育委員会「性教育指導の手引き」の作成・編集において中心となって尽力し、この手引きは児童の指導に活用されている。 また、姫路市性教育担当者の副幹事長・幹事長、姫路市保健・性教育担当者の理事長を務め、これらの成果が認められ、平成24年11月に姫路市学校保健功労者表彰を受賞した。28年度から姫路市健康教育担当者の副理事長を務めている。	
12	かぶもと 株本 かずのり 和則	新温泉町立温泉 小学校	教諭	長年にわたり、児童の健康安全・体力向上・運動意欲の高まりを狙い、サーキットトレーニングの導入や自作教材の作成、視聴覚機器を活用した授業づくり等、積極的に運動に取り組む児童の育成に努めている。 平成27年度に、文部科学省主催「子供の体力向上指導者養成研修」を受講し、「幼稚園・小学校教員体育実技指導力向上事業」や「兵庫県学校体育実技指導者講習会」等の講師を務め、そこでの学びを還元した。その実績をもとに、28年度から教科等指導員となり、年次研修等様々な研修で講師を務めている。	

No.	氏名	学校名	職名	主な受賞内容	分野
13	おかだ やすたか 岡田 康孝	洲本市立安平小学校	教諭	<p>道徳教育の分野において、1年生と3年生など年齢差のある学年での合同授業の実践、自作教材による授業の構築、総合単元的道徳教育の実践と検証などを行っている。</p> <p>平成24年度以降、積極的に研修会の講師などを引き受け、洲本市内だけではなく、淡路教育事務所「道徳教育スキルアップ支援プログラム」や県立教育研修所の道徳教育講座等、県下の多くの研修会において、自身の研究姿勢や実践内容を多くの教職員に提案している。</p> <p>平成27年度からは教科等指導員(道徳)として活躍している。</p>	学習指導、研修・研究活動
14	もりやす のぶこ 森安 修子	三田市立三輪小学校	教諭	<p>市内の読書活動推進の中心となって活躍しており、平成27年度には三田市立図書館等の関係機関と連携しながら校内でミニブリアトールを実施し、三田市教育長や三田市立図書館長など、校内外の多くの参加者を得て、学校と関係機関との連携を深める契機となった。この取組は『兵庫教育』で紹介された。</p> <p>また、ひょうご子ども読書活動推進フォーラム地区運営委員、兵庫県学校図書館協議会理事等多くの委員を務め、子どもの読書活動の充実に向けて尽力している。</p>	課題教育(学校保健・食育、特別支援教育、人権教育、防災教育、へき地教育等)
15	おおとう ゆか 大藤 由華	加東市立滝野東小学校	養護教諭	<p>養護教諭として、発達段階に応じた保健教育を実施し、児童との対話を大切にし、個々の課題に応じた指導を行い、不登校の予防的な役目を効果的に果たしている。</p> <p>平成18年度には東播磨地区学校保健研究協議会研修会で実践発表を行い、21年度から3年間、加東市養護教諭研究会の幹事を務め、組織の中心的存在としてリーダーシップを発揮し、市内養護教諭の実践的な指導力向上に向け尽力した。</p> <p>また、平成28年度から播磨東地区養護教諭研究協議会及び北播磨地区養護教諭研究会幹事長を務め、夏季研修会を中心となって開催した。</p>	
16	しらい ひろ恵 白井 弘恵	姫路市立津田小学校	教諭	<p>長年、道徳・人権教育の研究に取り組み、「姫路市人権・同和教育研究大会」や「兵庫県人権教育研究大会西播磨地区大会・中央大会」において実践を報告するなど、研究成果の発表を精力的に行っている。</p> <p>平成21年度から2年間、県教育委員会道徳教育副読本の原稿作成に携わった。姫路市道徳・人権教育担当者会において、27年度から同会幹事長として運営を統括し、教職員の夏季研修を推進するなど、人権教育の向上に寄与している。また、中播磨地区協議会の代表として、県との連絡調整も行っている。</p>	
17	おおほま さおり 大濱 さおり	南あわじ市立松帆小学校	教諭	<p>南あわじ市内の小学校外国語活動部会のリーダー的存在で、市小学校外国語活動研究部会員として、市外国語活動連絡協議会に「外国語活動の授業モデル」や「クラスルーム・イングリッシュ」を提案した。</p> <p>平成26年度には、県教育委員会主催「兵庫教育大学と連携した英語指導力向上事業」に参加し、その成果を市教育委員会主催の初任者研修や外国語活動部会で初任者や外国語指導が苦手な教員にも発音練習やアクティビティを行う意味を伝えた。</p> <p>また、平成27年度には、これらの実践が『兵庫教育』に掲載された。</p>	
18	こばやし れいこ 小林 令子	太子町立太田小学校	学校主幹	<p>臨時的任用を含めた新規採用事務職員の研修制度の研究を中心となって進めた。</p> <p>学校業務改善のための学校事務部会の中心として、市内全校共有フォルダを作成して、資料・システム・データ等を統一・共有するなどにより事務の効率化を図った。この取組を県立教育研修所の事務職員研修講座で講義した。</p> <p>また、中西播磨地区小中特別支援学校事務職員連絡協議会幹事、揖龍小中学校事務職員協議会副会長を務め、事務職員の業務改善への取組を率先して進めている。</p>	職務の工夫・改善

中学校（8名）

No.	氏名	学校名	職名	主な受賞内容	分野
19	やまさき 山崎 佳恵	伊丹市立南中学校	主幹教諭	食育の一環として、中学生が自分で食べる弁当の献立づくりから片付けまで一人で行うことを目指した「弁当の日」の推進に大いに貢献し、この取組を通して、自分にも出来たという自信や、感謝の気持ち、食への関心、想像力や自己肯定感を育み、生徒の学校生活や家庭生活を豊かにした。 家庭科における教科指導に優れ、教科等指導員(H26)、兵庫県技術家庭科教科用図書採択委員や同専門委員を務めるなど、伊丹市にとどまらず家庭科教育の発展に尽力している。	
20	みふね 三船 美里	加西市立泉中学校	教諭	加西市の英語教育の中心的存在として活躍し、平成23年度にひょうご学力向上推進プログラムに係る「ことばの力」の育成を図るための県教育委員会主催の教員研修において教頭や主幹教諭を対象に講演を行った。教科等指導員（外国語）やEnglishつまずき予防プロジェクト委員としても活躍した。 平成24年度から2年間、兵庫教育大学院「小学校英語プログラム」教育課程を履修し、英語教育への理解を深め、28年度、市内小学校における校内研修会の講師として、小学校英語教科科化に向けて、教員の意識改革を図るための講演を行っている。	
21	ありとし 有吉 研治	多可町立八千代中学校	主幹教諭	平成23年度から2年間、「ことばの力」育成事業において研究の中心を務めた。授業研究では、学習形態を工夫し、「考えを深める」「発表する」等の言語活動の充実を図った。授業後の研修では全教職員の意見が反映されるよう工夫し、組織全体で研究を推進した。この研究の中で、全教科の教員が、全員公開授業を行う体制を整えた。 平成26年度から教科等指導員(社会科)として、初任者研修や教職経験者研修、他市町の校内研修など様々な研修で講師を務め、特に若手教員の指導力向上に尽力している。	学習指導、研修・研究活動
22	なかはら 中原 弘人	姫路市立白鷺中学校	主幹教諭	姫路城をテーマとした授業実践を研究し、漆喰塗り体験（『兵庫教育』で紙上发表）や鯰瓦作り体験、天守閣の構造見学など、地域教材を活かした授業づくりに尽力し、新聞でも紹介された。 また、通学用靴への防犯ベル用金具の取付を自ら行い、生徒の安全を守るための珍しい例として新聞で取り上げられた。 技術科の教材開発について中播磨地区で中心的な役割を果たし、実践発表や公開授業を行うなど教科教育を常にリードしている。	
23	よだ 興田 聡	豊岡市立豊岡北中学校	教諭	美術の授業や美術部での指導を通して、生徒に自尊心と自信を持たせる実践を積み重ねている。生徒に寄り添い一つ一つの技術指導を丁寧に行うことで、創意工夫しながら生き生きと創作活動に取り組む態度を養っている。その結果、生徒は高い表現方法を身につけ、創造的な作品を生み出しており、全国教育美術展で地区学校賞や全国学校賞を、兵庫県小中高校絵画展で優秀校賞を受賞するなど、大きな成果を上げている。 また、平成24年度には、「日本教育美術連盟 第55回夏期研究会」において研究発表を行った。	
24	さの 佐野 直弘	姫路市立大津中学校	主幹教諭	同校の生徒指導担当として、生徒の規範意識の向上、生命・人権を尊重する態度の育成に尽力している。 平成28年度、姫路市中学校生徒指導担当者の幹事長として、市全体の取組を主導するとともに、生徒指導のノウハウを伝えたり、適切な助言を行っている。 平成28年9月、播磨西教育事務所管内全ての生徒指導担当者を対象に、「いじめ問題に取り組むための効果的な考え方と実践」をテーマに講演した。	生徒指導、進路指導

No.	氏名	学校名	職名	主な受賞内容	分野
25	みやたけ ひろこ 宮武 浩子	西宮市立平木中学校	主幹教諭	<p>同校の人権教育推進の中心として活動し、自校だけでなく、地域や他校への人権教育推進の中心として活躍している。</p> <p>長年にわたり、西宮市人権教育指導員や西宮市人権・同和教育協議会進路保障部委員、阪神人権教育協議会進路保障部委員を務めるなど、市内の人権教育の啓発に尽力している。</p> <p>また、生徒の卒業後も、私立公立問わず進学先の高等学校と長期にわたり連携し、追跡指導を行うなど、卒業後の生徒に対する支援の中心として活躍している。</p>	課題教育（学校保健・食育、特別支援教育、人権教育、防災教育、へき地教育等）
26	しまたに ともみ 島谷 智美	姫路市立東光中学校	学校副主幹	<p>平成20年度から4年間、姫路市立小中特別支援学校事務職員協議会副会長として、初任者や経験の少ない単数配置の事務職員の支援・育成を行うため、経験豊富な事務職員をサポーターに位置づけて活動する「事務職員サポートシステム」の構築に取り組み、28年度からの制度化に貢献した。</p> <p>平成24年度から同協議会会長としてリーダーシップを発揮し、「姫路市学校ルールブック(学校事務編)」の作成に取り組み、全市的に文書の取扱いの標準化を進め学校業務改善、勤務時間の適正化に寄与している。</p>	職務の工夫・改善

高等学校（6名）

No.	氏名	所属	職	主な受賞理由	主たる分野
27	ひらやま つよし 平山 剛士	県立和田山高等学校	教諭	平成27年度から諸問題の早期発見及び教師と生徒の信頼関係を深めることを目的に、担任による個人面談とは別に担任以外の教員による1年生全員面談を企画・実施し、大きな成果をあげた。 また、平成28年4月に発生した熊本地震に対するボランティア活動を、県下でいち早く企画・実施した。活動後には報告会を行い、成果を共有することで、この取組を全校生徒の自信や誇りにつなげるとともに、生徒指導上の問題から失っていた地域の信頼を回復させた。	生徒指導・進路指導
28	しげと かつひこ 繁戸 克彦	県立神戸高等学校	主幹教諭	平成20年度からSSH事業に携わり、同校総合理学科のカリキュラムを検討するとともに様々なプログラムを構築し、総合理学科及びSSH事業の成果をあげた。 「サイエンスフェアin兵庫」の企画運営を中心となって行い、大会の成功に尽力するとともに、平成27年度には「サイエンスカンファレンス」を中心となって企画・実施し、SSH事業として定着させた。 指導した課題研究が、平成28年度SSH全国発表大会で準優勝となるなど、理科教育の指導力にも優れている。	課題教育（学校保健・食育、特別支援教育、人権教育、防災教育、へき地教育等）
29	いのうえ みか 井上 珠郁	県立東灘高等学校	教諭	平成26年度からキャリア教育推進のための中核的事業として、2年生の夏休みに行われる各種の体験活動（インターシップ、育児体験、看護実習、大学訪問等）を「夏季体験学習」として一元化し、事前準備による動機付けと、事後報告による目的意識の醸成を図るとともに、緻密なアンケートを行って検証するなど、キャリア教育を推進した。 その成果が学術的にも評価されキャリア教育指導者養成研修講師やキャリアデザイン学会・関西支部大会での研究発表等、活躍の場を広げている。	
30	ふじさき あつし 藤崎 敦士	県立西宮甲山高等学校	主幹教諭	教員を目指す生徒を対象とした教育総合類型の教育課程を、ビジョン委員会長として中心となってゼロから構築した。 校外活動や、同校の恵まれた自然環境を生かした様々な実験や観察を行うことで、理科教育のおもしろさを理解させ、それを次世代に伝えることができる力量と感受性を育み、地域の保育や初等教育を支える人材を育成している。 平成27年度に奈良県立平城高等学校教育カンファレンスに招かれ、同校の特色である「教育総合類型取組」について概要説明を行うなど、校外にも成果を広めた。	
31	かわい ゆうすけ 河合 祐介	県立御影高等学校	主幹教諭	同校の環境科学部顧問として、六甲山のキノコの多様性を、標本作製や生態分析から明らかにし、地域の多くの団体と協働しながら「六甲山のキノコ展」など対象者や集客層を考えた様々なイベントを企画・運営し、郷土の豊かな自然環境を発信していく活動を長年にわたって行っている。 この活動が新聞やテレビなど多くのメディアで取り上げられ、全国に発信されるとともに、『兵庫教育』や専門誌への執筆や日本生物教育会全国大会で講演するなど、多くの場で発表している。	開かれた学校づくり、その他の学校教育活動
32	さとう つかき 佐藤 つか司	県立伊丹高等学校	教諭	SGHの指定を受け、同校に新設されたSGH課の課長として、その中心的役割を果たしている。SGHの目標の一つである「生徒の変容」を進めるため、「英語4技能テスト(GTEC)全員受検」を導入し、その結果を分析して進路指導に役立てている。 また、総合的な学習の時間のカリキュラム開発を行い、「自分で問いを立てることの出来る人材」と「答えのない問いにじっくり取り組める人材」の育成に尽力している。総合的な学習の時間を全職員で担当し、完全なアクティブラーニングの時間に全員で取り組むことで、校内全ての授業改善に役立てている。	

特別支援学校（5名）

No.	氏名	学校名	職名	主な受賞理由	分野
33	たけうち やすのり 竹内 康哲	県立阪神特別支援学校	教諭	就学前の早期の支援を進め、公立学校園のみならず、私立幼稚園や私立保育所に在園する園児も積極的に支援し、気になる園児の行動観察や、保育士との指導・支援検討会を行い、園内支援体制の構築に貢献した。さらに、巡回相談に当たっては、関係機関等との連携を生かし、言語聴覚士等の外部専門家と共に相談に当たるなど、効果的な指導・支援に努めている。 「ユニバーサルデザインの視点を活かした指導と学級づくり」(金子書房、H26)に取組が掲載されたり、年次研修等での講師を多く依頼されるなど、特別支援教育の推進に尽力している。	課題教育（学校保健・食育、特別支援教育、人権教育、防災教育、へき地教育等）
34	おおくぼ けいこ 大久保 圭子	県立赤穂特別支援学校	教諭	特別支援教育の地域のセンター的機能として教育相談を進めるだけでなく、校区内2市(赤穂市、相生市)の早期支援体制を中心となって構築し、教育・福祉・保健機関が一体となった支援体制を確立した。 また、心理検査実施のために平成23年に学校心理士及び臨床発達心理士の資格を取得し、心理検査実施後は、報告書を作成し、保護者・学校園等に提供している。 これらの実践について、日本特殊教育学会のシンポジウム等多くの場で発表するとともに、報告書や研究紀要を作成するなど、積極的に実践内容を広めている。	
35	いろは ちよせ 色波 千登勢	県立播磨特別支援学校	主幹教諭	特別支援教育及び障害のある生徒の就労に関する専門家として、「兵庫県特別支援教育第二次推進計画」に基づくインクルーシブ教育システムの構築に向けた本県特別支援教育の推進に貢献し、その成果が『兵庫教育』に掲載された。 特別支援学校認定資格開発作業部会委員及び特別支援学校技能検定運営委員会代表委員を務め、生徒の就労への意欲を高め、生徒が身につけた就労に関する技能等の水準を公的に証明する認定資格の開発として、ビルクリーニング部門及び喫茶サービス部門での技術検定の開発・運用に取り組んだ。	
36	けんもつ かずひろ 剣物 和弘	加古川市立加古川養護学校	主幹教諭	同校特別支援教育コーディネーターとして、保護者や関係機関等の窓口となり、教職員はもとより、福祉・医療等との連絡調整を的確に行うなど多くの成果を上げている。また、地域のセンター的機能の充実に向け、各校園をはじめ、各種関係機関へ指導助言を行っている。 また、平成28年11月の全国肢体不自由教育研究協議会で実践発表を行うなど、特別支援教育の推進、障害者施策の充実等に大いに寄与している。	
37	さいとう ゆみえ 齋藤 弓絵	篠山市立篠山養護学校	教諭	同校の教育支援部教育相談担当として、市内の幼児・児童・生徒の学習・生活における相談やアセスメントに当たっている。 地域リソースや広域リソースを活用した教育相談を展開し、多くの指導を行うとともに、講演会を開催し、少しでも実践に活かせるようにフィードバックの仕方等にも工夫を凝らしており、篠山市の特別支援教育の中心的存在である。 また、平成27年度には「一般社団法人 日本LD学会 第24回大会(佐賀)」において、ポスター発表を行った。特別支援教育士の資格も取得している。	